

## 4 エリアに関するデータ

### (1) 観光客入込数について

- 本市全体の観光客入込数は、平成23年以降増加傾向をたどり、平成27年に過去最高の2,229万人を記録。令和元年まで横ばいで推移していたものの、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により激減
- 「仙台城跡・瑞鳳殿・博物館」の観光客入込数は、新型コロナウイルス感染症以前の令和元年是約101万人を記録するなど、青葉山周辺エリアは本市の主要な観光地となっている

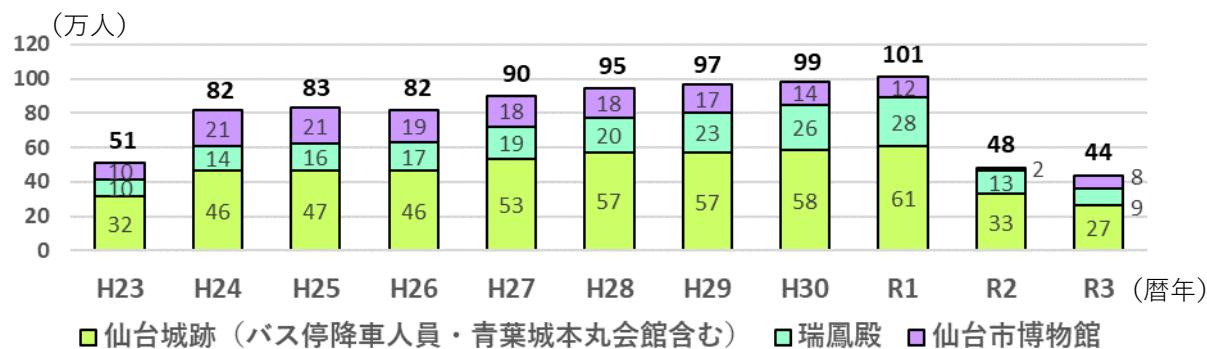
「観光客入込数」について

観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、市内の観光施設、温泉施設、観光イベント等の入込客数を調査集計

#### ① 仙台市全体の観光客入込数の推移



#### ② 仙台城跡・瑞鳳殿・博物館の観光客入込数の推移



#### ③ 主な観光地点・行催事・イベントにおける観光客入込数 (令和元年)



①～③仙台市観光統計基礎データ (Data仙台2021) 等より

### (2) 国際会議開催状況について

- 本市全体の国際会議開催件数は、平成27年に国連防災世界会議の開催や地下鉄東西線の開業により急増し、過去最高の221件を記録。平成28年以降は120件前後で推移したものの、令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により激減
- 会場は「国際センター」及び「東北大学」が開催件数及び参加者数の大半を占めており、青葉山周辺エリアは本市の国際会議開催拠点となっている

「国際会議」の基準について (JNTO国際会議統計)

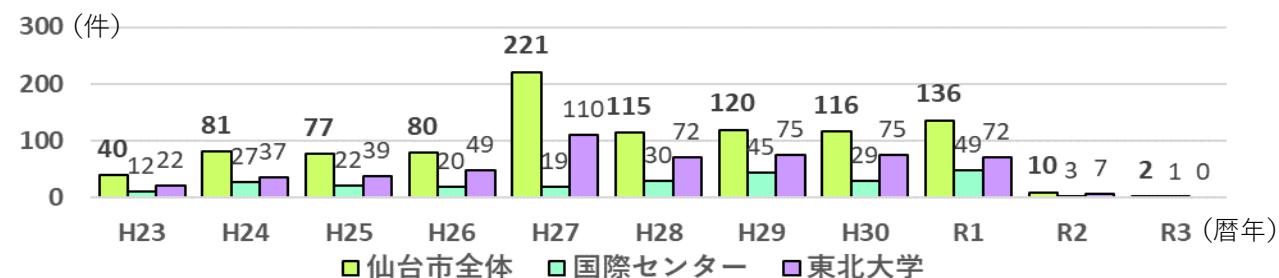
主催者: 「国際機関・国際団体 (各国支部を含む)」又は「国家機関・国内団体」  
(「公共色を帯びていない民間企業」以外は全て。)

参加者総数: 50名以上

参加国数: 日本を含む3居住国・地域以上

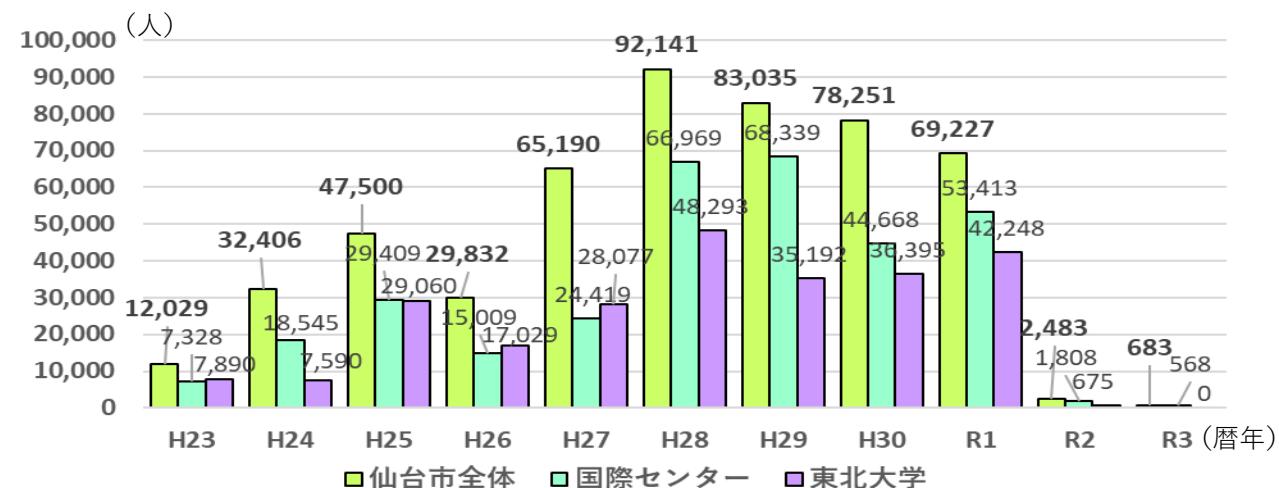
開催期間: 1日以上

#### ① 開催件数の推移



※国際センター及び東北大学における一体利用は重複して計上

#### ② 参加者数の推移



※国際センター及び東北大学における一体利用は重複して計上

①②日本政府観光局 (JNTO) 国際会議統計より (R3は暫定値)

#### ③ コンベンション開催実績

■ 主な政府系国際会議

H27	第3回国連防災世界会議 (6,500名)
H28	G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議 (800名)
H29	世界防災フォーラム/防災ダボス会議 @仙台2017 (947名)
R1	第31回OIEアジア・極東・太平洋地域総会 (110名)

■ 主な学術集会

H28	第80回日本循環器学会学術集会 (15,000名)
R1	第62回日本糖尿病学会年次学術集会 (12,000名)
	第31回日本老年学会総会 (9,500名)
R2	第17回世界地震工学会議 (現地271人、オンライン2,852名)

(暦年)

③公益財団法人仙台観光国際協会ホームページ等より